



津奈木中
学校便り
No. 16

夢実現・挑戦

令和6年10月8日

津奈木町立津奈木中学校

校長 高橋 裕二

どんな自分の人生にしたいのか？

9月20日（金）、キャリアガイダンス（職業講話）を行い、3人と1組の講師の方々に、30分の講話をそれぞれ2回して頂き、全校生徒が4班に分かれて講話を2回聞きました。

キャリア教育は、一人一人が自立するために必要な能力や態度を育てる教育で、最終的には「自分の生き方」について考えることが



【9月 キャリアガイダンス】

できるようにすることが目的です。

津奈木中出身で芦北地域振興局長の門崎さんは、相手の立場になって物事を考えることや、失敗した時にその原因を見つけ、考え行動することが大切であることを話されました。

同じく津奈木中出身であん・さんくの長友さんは、修業中の厳しい体験や、仕事ではコミュニケーション、やる気、忍耐力が大切であることを話されました。

女子サッカー水俣ユニオンの熊田監督は、日本各地や世界各国でサッカーの監督をされた経験や、水俣で監督になった経緯を話されました。また、選手で女子サッカー元日本代表の磯金さんは、どんな時も明るく元気にポジティブに考え、行動することが大切であると話されました。

津奈木町地域おこし協力隊の上原さんは、SNSで津奈木町の良さを発信することや、「楽しむ」は人を動かす原動力になることを話されました。



【9月 2年職場体験】

特に3年生は、これから自分の進路を決め、将来就きたい職業を目指していきますが、「どんな人生にしたいのか」も考えてほしいです。

最後に、福岡市立高校教諭で女子サッカー一部監督でもある磯金さんが語られた「5歳から始めたサッカーが、私の人生を豊かにしてくれた。今は恩返しをしたい」という言葉が、キャリア教育の本質を言い当てた言葉だと思いました。

全学調の生徒質問紙の分析結果

前号に続き、4月に3年生が受けた全国学力・学習状況調査の生徒質問紙結果をお知らせします。

質問事項に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の肯定的な回答のうち、「当てはまる」を回答した生徒の割合で、全国との割合の差が大きかったり、昨年度の本校と比較したりした結果です。

【学力・自分・学校・家庭に関すること】

- 授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表した (昨年比+10%)
- 先生は、間違えたところや理解していないところを、分かるまで教えてくれている (昨年比+22%)
- 自分には、よいところがある (昨年比+17%)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれる (昨年比+11%)
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ (全国+27%)
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ (全国-12%)
- 授業では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んだ (全国-12%)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (全国-21%)

【成果と課題】

- 「授業で工夫して発表」「先生は分かるまで教える」は、朝自習や基礎学力テスト、つなぎタイムの成果が表れた。
- 「自分によりよいところがある」「道徳の授業の対話的な活動」は、道徳教育研究推進校としての成果が表れた。
- 「先生は、あなたのよいところを認める」はやや改善したもの、「先生や学校にいる大人にいつでも相談」は課題のままであり、生徒との信頼関係をさらに培う必要がある。

私が教師を目指した理由の1つに、野球の指導をしたいというのがありました。放課後が待ち遠しく、生徒に指導しながら自分が一番楽しんでいました。生徒の打撃練習の時は、グラウンドを地ならしして、ボールが生徒の顔に当たらないように、毎回グラウンド整備をしていました。

本校の駅伝練習でも、生徒が走るレーンも地ならししながら歩いて周回しています。9月に入って、「グラウンド整備ありがとうございます。とても走りやすいです」と2名の女子生徒が別々に声をかけてくれ、とても嬉しかったです。

ところで、野球は20年間5校で指導しましたが、グラウンド整備で感謝の言葉を言ってくれた生徒はいませんでした(笑)。私が怖かったのが、私の教育が悪かったのか。ほぼ男子だった野球部の生徒達は、さっと感謝の言葉を伝えるのが照れくさったのかなと思っています。感謝の気持ちや思いは、相手に伝えて喜ばれた方がいいですね。